

# PCP研究会 Newsletter

## No. 12

# Advance

## ～精神科薬剤師のさらなる進化への挑戦～

発行:PCP研究会広報委員会

### 巻頭言

平成24年度診療報酬改定では、病院薬剤師の悲願とでも言うべき「病棟薬剤業務実施加算」が全病棟において認められました。制限はありますが、精神科病棟が除外されず認められたことは、精神科病院に勤務する薬剤師にとって大変うれしいことです。しかし、ここまで道程は決して平坦なものではなく、特に精神科病棟・療養病棟に対しての加算については、保険支払者側だけでなく、診療者側からも反対意見が出て最後の最後までもめました。多くの反対意見が挙がる中、精神科・療養病棟が除外されなかつたのには、日本病院薬剤師会の堀内会長をはじめとした執行部が、当初からの要求通り「例外なく全病棟に加算」を妥協することなく貫いてくださったこと、また中医協の花井、三浦両委員の後押しがあったこと、そして、何よりも厚労省の吉田薬剤管理官の「現場の薬剤師の意気込みと今後の発展性に期待したい」という発言があったからです。このように多くの人達の努力、支援、期待により認められた「病棟薬剤業務加算」ですが、付帯意見として「次回の改正では再度検証を行うこと」が明記されています。簡単な一言ですが、この言葉はとても重要な意味を持っています。それは精神科薬剤師が病棟業務を実施し、厚労省が認めるエビデンスを示さなければ次回の改定で精神病棟は除外されることを示しているからです。そして一度外された加算が、再度認められる事はほとんど不可能でしょう。つまり精神科薬剤師にとってこの2年間は正に勝負の年となります。

絶対数としての薬剤師不足という厳しい状況ではあると思いますが、多くの施設で病棟業務が実施され、エビデンス構築にご協力いただけることを期待しております。

副代表世話人 天正 雅美

### 2011年度全国処方調査中間報告(調査委員会)

昨年10/31に実施した処方調査では、全国149施設より、総計21,823症例の貴重なデータをご提供頂きました。業務繁多にもかかわらず調査にご協力頂きました先生方、本当にありがとうございました。

【調査背景】 参加施設数: 149施設

データ数: 21,823症例

平均年齢: 58.1歳

【集計結果】

	平均処方剤数	平均投与量土 標準偏差	単剤処方率
抗精神病薬	2.0 ± 1.2剤	816.0 ± 661.0mg(CP換算)	34.27%
抗パーキンソン薬	0.7 ± 0.7剤	1.7 ± 2.2mg(BP換算)	
抗不安薬・睡眠薬	1.5 ± 1.2剤	13.5 ± 17.2mg(DAP換算)	

【発表予定】

本年5/24~26、札幌で開催される第108回日本精神神経学会学術総会において、2演題発表いたします。今回は、全体としての処方実態、並びに第1世代抗精神病薬と比較した第2世代抗精神病薬の処方動向について、副代表のお2人が報告する予定です。これまでとは一味違ったアカデミックな発表となると思います。多くの先生方のご参加をお待ちしています。

東海ブロック世話人 宇野 準二

### 学会発表報告

昨年度の日本精神神経学会は、東日本大震災の未曾有の被害があり、その甚大な影響を慮り開催延期がなされました。再度、この書面をもって被害を心よりお見舞いとお悔やみを申し上げます。

私の仕事の遅さから発表内容について多くの先生方にご迷惑をお掛けし、当日も冷や汗が止まらない状況がありました。処方調査において多数のご施設にご協力賜り25,346名の詳細な服薬状況が解り、全国の患者様の服薬実態を全国に発信し知ってもらえるように願いながら発表を致しました。この発表が各施設、患者様の救いの一助となれば幸甚です。

関東・甲信越ブロック世話人 長谷川 毅

## 2011年度下期の活動状況

### 基本テーマ：統合失調症服薬アドヒアランス向上へのアプローチ

先生方のお名前は敬称略で記載させて頂いております。

ブロック	開催地	開催日	特別講演	症例検討		追加プログラム 病院紹介/ショートレクチャー	参加人数
北海道	札幌	3月 3日	中江病院 中山 誠	中江病院 中山 誠	三愛病院 山本 勇樹	旭山病院 林 一美	43
東北	盛岡	3月25日	岩手医科大学 山家 健仁	岩手医科大学 山家 健仁	弘前愛成会病院 内山 道子	気仙葉剤師会 金野 良則	32
	仙台	3月 4日	国見台病院 小田 康彦	国見台病院 小田 康彦	笠松病院 谷藤 弘淳	こだまホスピタル 黒須 真弓	28
関東・甲信越	東京	3月11日	昭和大学 高塙 理	滝山病院 芹澤 秀和	東京女子医科大学 小林 清香	西熊谷病院 福島 泰輔	50
	大宮	2月19日	川口病院 柴田 獻	新潟葉科大学 南雲 陽子	戸田病院 井高 垣子	—	28
	千葉	2月12日	袖ヶ浦さつき台病院 石毛 稔	初石病院 佐藤 健登	袖ヶ浦さつき台病院 山口 幸子	—	27
東海	名古屋	2月19日	大渕病院 曾根 靖貴	大渕病院 曾根 靖貴	大仲さつき病院 伊藤 恵	三方原病院 木内 健雄	36
北陸	金沢	3月 4日	福仁会病院 沖野 栄喜	公立能登総合病院 東間 正人	公立能登総合病院 室木 研	金沢大学 坪内 清貴	41
近畿	大阪	2月 5日	新阿武山病院 岡村 武彦	新阿武山病院 岡村 武彦	藍野花園病院 栄 さゆり 江守 佳代 松田 公裕	—	46
	京都	2月26日	浅香山病院 谷口 典男	浅香山病院 谷口 典男	京都博愛会病院 島 祥子	—	58
中国・四国	岡山	2月12日	岡山大学病院 高木 学	岡山大学病院 高木 学	福山友愛病院 佐藤 圭子	鳥取医療センター 家岡 昌弘	34
	徳島	2月 5日	徳島大学 伊賀 淳一	徳島大学 伊賀 淳一	南海病院 中野 敬子	—	17
九州	福岡	3月11日	久留米大学 内野 俊郎	産業医科大学 堀 輝	麻生飯塚病院 進 健司	産業医科大学 堀 輝	102
	鹿児島	3月 4日	久留米大学 小路 純央	弓削病院 西山 浩介	弓削病院 大森 佐知子	弓削病院 西山 浩介	18
	沖縄	3月18日	田崎病院 比嘉 司	田崎病院 細田 哲章 嘉手丸 克子	—	東邦大学 吉尾 隆	27

### 英文論文がアクセプトされました

PCP研究会の処方実態調査論文 (Profiles of the prescriptions for psychopharmacological treatment in the Japanese inpatients with schizophrenia: comparison between 2007 and 2009) が英国の精神医学系雑誌Human Psychopharmacology: Clinical and Experimentalにアクセプトされ、2012年1月にweb上でonline掲載されました。4月には雑誌に掲載されます。これまで、PCP研究会の処方実態調査は邦文誌である臨床精神薬理誌には2005年、2006年の調査論文が掲載されていますが、今回、初めて国際誌に発表することができました。国内における統合失調症の薬物療法が、国際的には特異なものであることを世界の精神医療関係者に明らかにすることで、国内の薬物療法も改善していくことが期待されます。

代表世話人 吉尾 隆

## みんなねっと「香川」

今年は香川大会ということで、三船病院の直江正保先生、四国ブロック世話人の梅田賢太先生とお薬相談を担当させていただきました。

初日は午後、2日目は午前中の限られた時間ではありましたが、計20名程の当事者やご家族の方が来てくださいました。

2日間を通して一番肌身で感じたことは、ご家族も苦悩されている!! ということでした。その苦悩とは、病気については当然ですが、“薬は本当にこれでいいのか??”ということでした。相談者の中には、本人に内緒で処方薬を1錠ずつ持ってこられたご家族もいらっしゃいました。

そして相談に来られた方々がお帰り際、「こういうのがあるとは知らなかった」、「来てよかったです」という言葉を残していくくださいました。

今回参加させていただいたて、当研究会が今後、当事者やご家族に対して何ができるのか?を改めて自分自身に問う機会となった2日間でした。



\*筆者は写真中央

中国ブロック世話人 北川 航平

## 東日本大震災のいま

東日本大震災から1年が経過しました。おかげさまで、本年3月4日仙台会場、3月25日盛岡会場をもって、2011年度上期・下期の東北ブロック学術講演会を、両会場共無事に終える事が出来ました。

震災当時、上期講演会の開催が6月の予定でしたが、我々東北ブロック世話人は、被災地の大変な状況を思うと、上期についてとても開催できる状態ではないと考えておりました。しかし、このような状況でも精神科医療、薬剤師を取り巻く環境は刻々と変化している事も感じ、我々が行える支援として上期を10月に開催することにしました。

結果、上期の会場は「再会の場」となり、震災時に安否確認のため連絡を取り合った先生方とお会いできた時には、本当に感動を覚えました。そして下期では、病院薬剤師・開局薬剤師から震災報告をしていただきました。各々が置かれた状況のなかで薬剤師の職能を発揮し、常に反省や課題を持ちながら変化にも対応していく姿に、大変感銘を受けました。

まだまだ復興へ歩んでいる現在ですが、これを次に生かす事も重要です。PCP研究会でも災害対策委員会が立ち上がります。我々精神科薬剤師のネットワークをより強固なものにしていきましょう。

東北ブロック世話人 谷藤 弘淳

## 新世話人紹介

このたび北海道ブロック世話人になりました医療法人ときわ病院の志田雅彦です。北海道はとてもんびりとした土地柄で、僕自身もとてもんびりとした性格をしております。そのため前任の杉村先生には「しっかりやりなさいよ」と喝を入れられてばかりです。この会はとても勉強になる会で、いつも自分の未熟さを思い知られています。これからは本当に杉村先生の言葉を肝に銘じてしっかりとPCPを盛り上げていければと思っております。どうぞよろしくお願ひ致します。



北海道ブロック世話人 志田 雅彦

## PCP研究会「災害対策委員会」の設置について

昨年3月11日に発生した東日本大震災から早1年が経過しました。これまでに経験した事のない震災、津波、原発が複合する非常に大規模な災害であったため、当時は何をして良いのか?何が出来るのだろうか?という葛藤が長く続きました。そこでPCP研究会では、今後の不測の事態に対応すべく「災害対策委員会」を設置する事に致しました。全国各地区を網羅する情報連絡網の整備、支援物資の供給や応援連絡リストの作成など、東北ブロックの会員の意見を参考に、少しでも多くの方に役立つ体制を整備していく予定です。

会員の皆様へのご協力も合わせてお願い申し上げます。

東北ブロック世話人 黒沢 雅広

## 2012年度上期ブロック講演会開催(予定)のご案内

ブロック	場 所	開 催 日	会 場
北海道	札幌	7月 8日(日)	大塚製薬(株)札幌支店
東 北	盛岡	6月 3日(日)	マリオス盛岡
	仙 台	6月10または17日(日)	アゼリア ヒルズ17F アゼリアホール
関東・甲信越	東 京	9月 9日(日)	秋葉原UDX
	千 葉	6月10日(日)	大塚製薬(株)千葉支店
	大 宮	9月 2日(日)	ラフレさいたま 5F 桃の間
東 海	名古屋	7月22日(日)	ウインクあいち 愛知県産業労働センター
北 陸	金 沢	7月 1日(日)	石川県地場産業振興センター 本館3F 第3研修室
近 畿	大 阪	7月22日(日)	梅田スカイビル
	京 都	8月 5日(日)	メルパルクKYOTO
中国・四国	米 子	9月 2 または 9日(日)	国際ファミリープラザ
	愛 媛	8月26日(日)	えひめ共済会館
九 州	福 岡	8月 5日(日)	福岡国際会議場
	鹿児島	9月 2日(日)	天文館ビジョンホール
	沖 縄	6月17日(日)	沖縄県医師会館



### 事務局 掲示板

#### ■2012年度会費(2012年4月～2013年3月分、年会費：2,000円) 納入のお願い

年会費のお支払いは、ご出席の講演会開催前までにお振り込みにてお願いいたします。

【郵便局】 口座名：精神科臨床薬学研究会 口座番号：00170-2-578959

※通信欄に、必ずご施設名、お名前、会員番号をご記入ください。

(会員番号は、Newsletterの封筒の宛名シールに記載されています。)

#### ■講演会プログラム

講演会開催日1ヶ月前を目処に各講演会プログラムをホームページ  
<[www.pcp-rg.org](http://www.pcp-rg.org)>に掲載しております。

#### ■特別講演DVD「統合失調症服薬アドヒアランス向上へのアプローチ」貸出中

2011年度下期講演会を欠席された会員の皆様にDVDを貸出しております。  
希望される方は事務局までご連絡ください。バックナンバー(演題はホームページ  
ページに掲載)の貸出も受け付けております。

#### ■事務局連絡先

E-mail : [contact@pcp-rg.org](mailto:contact@pcp-rg.org) (メールには必ず、1.施設名、2.氏名を記載して下さい。)

URL : [www.pcp-rg.org](http://www.pcp-rg.org) Fax : 03-6717-1484

### 【編集後記】

東日本大震災から一年が経ちました。日々の業務に被災地での救護活動が遠い昔のようになってきています。震災での記憶を風化させることのないよう、また、いつ来るかわからない「次」への備えが大切です。PCP研究会でも災害対策委員会を設置しましたが、会員の皆様も普段からの備えを心掛け業務に臨みましょう。(Y.M.)

